メイン ページ

English

共同声明

(統合の経過)

(旧両派の総括)

(綱領的目標)

規約

重要決議集

沖縄からの通信

新しい労働運動

寄せ場委員会

論文コーナー

リンク集

出版物

E-メール (mail address)

新世界通信

〔宛先〕東京都足立区梅島2-38-11

〔tel〕03(3849)495

〔ｆａｘ〕

共同声明

（「規約」の付則:　第一条で言う「綱領」とは、現在においては、

共同声明の基本的内容とする。）

日本共産党（マルクス・レーニン主義）と共産主義者同盟の両者は、それぞれの臨時大会によって承認された本文書および規約の上に立って統合することをここに声明する。両者の統合は、革命勢力の団結と新生を望む先進的世論に応え両者が一貫して追求してきた日本の共産主義者の本格的な統合への、比較的小さな、しかし確かな一歩である。両者は、この統合を打ち固めると共に、激動の２１世紀に備え、全ての共産主義者、先進的労働者と共同して強大な革命政党をたたかいとるべく、ひきつづき奮闘するものである。

1 (統合の経過)

両者は、長年の交流を基礎に、１９９３年から統合のための協議を再開し、協議を積み重ねてきた。

両者は、国際共産主義運動の路線において、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想などを行動の指針としてきた共産主義潮流を継承・発展させ、現代修正主義と引き続き闘い、プロレタリア国際主義を堅持して世界社会主義革命を目指す綱領的見地を確認した。

両者は、当面する日本革命の任務と性格が、日本帝国主義を打倒し、アメリカ帝国主義を一掃し、プロレタリア階級独裁を樹立する社会主義革命であるという綱領的見地を確認した。

両者は、以下の条件を満たすことによって統合を達成した。

一つは、綱領上とくに日本革命の政治路線、また戦術上、組織上の基本的一致を勝ち取ったことである。

二つは、マルクス・レーニン主義に対しての清算主義に反対するだけでなく、その教条主義にも反対し、マルクス・レーニン主義の現代的発展を勝ち取らねばならないという強い課題意識を共有したことである。両者は、ソ連崩壊の事態について、それが、そこに行き着いたこれまでの国際共産主義運動の再検証と国際共産主義運動の現代的再構築とをわれわれに要求する事態であることを確認した。

三つは、各々の党建設の総括を相互に了解し、各々の異なった党史の中から共有化できる今日的地平が得られたことを確認した。

2　(両派の総括)

両者は、各々の党建設をそれぞれ次のように総括し、その内容について相互に了解した。

＜共産主義者同盟（赫旗派と略称）の党建設の総括＞